

# 花と緑の銀行だより

216号 2020.8



射水市 歌の森運動公園西側花壇 2020.6月末

## 目次

- ・花と緑の提言 花と緑にあふれ、うるおいのある名水の里 くろべ（黒部支店）・・・2
- ・活動事例 魚津市の緑化推進活動について（魚津支店）・・・3
- ・技術講座 富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン ミソハギ（職藝学院 渡邊美保子）・・・4
- ・緑づくりコーナー 庭木に利用する樹種の特徴と管理 カシワバアジサイ（樹木医 西村正史）・・・5
- ・事業紹介 「おもてなしフラワー事業」について（緑花推進部）・・・6
- ・この人あり おもてなし常花線じょうはなせん（南砺支店 南山田地方銀行 中野哲雄）・・・7
- ・報告・お知らせ 8月～12月の主なイベントなど・・・7



# 花と緑にあふれ、うるおいのある名水の里くろべ

花と緑の銀行 黒部支店長

黒部市長 **大野 久芳**

黒部市は、富山県の東部に位置し、黒部川の源流北アルプスから富山湾にいたる、緑ゆたかな名水の里です。秘境黒部峡谷や美肌の湯宇奈月温泉、「名水百選」黒部川扇状地湧水群など、山・里・川・海に恵まれた自然環境と観光資源を有しています。市民憲章では「水と緑をいつくしみ、うるおいのあるまちをつくります。」と定めており、市民一人ひとりが緑あるまちづくりの主役となることを目指しています。

市政の中心となる黒部市役所は平成27年に旧三日市小学校跡へ移設しましたが、同敷地内には富山さくらの名所70選の1つである「百年桜」があります(写真1)。通常、ソメイヨシノの寿命は60年程度ですが、この百年桜は樹齢113年と大変長寿で、毎春満開の花を咲かせ、市役所を訪れる方や市外・県外から訪れる人々の目を楽しませています。



写真1 旧三日市小学校の百年桜

また、標高約400mの高台には「くろべ牧場まきばの風」があります。このくろべ牧場からは黒部川扇状地や富山湾、能登半島を一望する事ができ、大変景観が優れております。秋には敷地内に植えられたコスモス畑が美しく咲き、より一層景色をお楽しみいただく事ができます(写真2)。

支店の活動といたしまして、緑化推進イベントを春と秋の年2回開催しております。市民の皆様へ苗木の無料配布や花苗のプランターへの植え込み体験、グリーンキーパーによる花や緑に関する相談会などを実施し、イベントを通して家庭からの花と緑のまちづくりを推進しています。

さらに、幼少年期からの体験を通じて、花や緑を愛し育てる楽しさを知り、親しみや関心を持つことを目的に、市内小学校を対象に「学校花壇コンク

ール」を開催しています(写真3)。このコンクールには、毎年市内9校中ほぼ全ての小学校からの参加があり、頭取・グリーンキーパーが学校花壇を現地審査し、優秀な学校を表彰しております。児童自身がデザインを考案するなど、各学校それぞれの工夫がみられ、レベルも年々向上しています。

このような取り組みは、当市では16地方銀行、頭取・グリーンキーパー101名が中心となっており、市民の皆様とともに進められています。本年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により残念ながら中止や縮小とした事業もありますが、市内緑化推進活動は十分な感染対策を施した上で継続しているところであります。今後も花と緑の銀行黒部支店では市民の皆様のご協力のもと、より一層花と緑にあふれるうるおいのあるまちづくりを目指してまいりたいと考えております。

結びに、公益財団法人花と緑の銀行の益々のご発展と皆様方のご健康とご活躍をご祈念申し上げます。



写真2 くろべ牧場 秋のコスモス畑



写真3 学校花壇コンクール審査の様子



# 魚津市の緑化推進活動について

## 花と緑の銀行 魚津支店

魚津市は、県東部に位置し、北東は黒部市、南西は滑川市、上市町と接しています。北西には富山湾が広がり、南東部は毛勝三山や僧ヶ岳など標高約2,400m以上の山岳地帯で、北アルプスに連なっています。市域の約70%が標高200m以上の山地で占められ、豊かな森林で形成されています。その森林の保水効果により、山岳地帯に降り注いだ雨や雪は、河川や地下水となって市街地を広く潤し、“花と緑のあふれるまち”の形成の一端を担っています。

現在、魚津支店には、13地区の地方銀行があり、13名の頭取と79名のグリーンキーパーが各地区の特色を活かした緑化活動を行っています。平成29年に魚津桃山運動公園を主会場として開催された、全国植樹祭での会場内フラワーアート作成などの活動をきっかけに、花壇づくりやプランターの設置方法など、他の方から見ていただくことを意識した緑化活動への意識が醸成しました。

経田地区では、経田地方銀行の頭取、グリーンキーパーが中心となり、富山地方鉄道経田駅近くの“置県100年記念花壇”の植栽管理に取り組んでいます。「一隅の灯となれ町に植えし花」を目標に、駅前であり公民館にも近いこの花壇が、様々な年代の方の目に触れることを考慮し、みんなに親しまれるような花壇となるように心がけて植栽管理を行っています。



写真1 置県100年記念花壇の植栽作業（経田駅前）

また、道下地区、上野方地区では、おもてなしフラワー事業を活用し、プランターの設置活動を行っています。道下地区では、市の玄関口である、あいの風とやま鉄道魚津駅前にプランターを設置し、四季折々の花で魚津市を訪れる方々を魅了しています。上野方地区では、魚津桃山運動公園内の花壇やプランターを管理し、毎年開催される全日本大学女子野球選手権大会など、県内外から来場し熱戦を繰り広げる選手達の一服の清涼剤となっています。

天神地区にある“花の森・天神山ガーデン”では、ガーデンを守る会の活動に他地区の頭取やグリーンキーパーが多数ボランティアとして参加しています。園内では、水仙やハナモモ、シャクヤクなど、季節の花々が訪れる度にその姿を変え、来園者を楽しませてくれます。また、休憩所があり、お弁当を持参してきれいな花を楽しみながら食事をとることもできます。

その他の地区においても、毎年5月には魚津支店より花苗を地区や公共施設、学校等に配布し、地方銀行の頭取、グリーンキーパー達が地域花壇への植栽を行い、市内一円を彩っています。



写真2 各地区での緑化活動

昨今は、頭取やグリーンキーパーの皆さんの年齢上昇や後継者の確保が難しく、活動が縮小傾向になるという問題もありますが、魚津支店では、「出来る範囲のことを、楽しんで」緑化活動を行っていることに一番重点を置き、各地方銀行の活動を支え、市内の緑化推進を行っていきたいと考えています。



# 富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン ～ 35 ミソハギ ～

職藝学院

教授 渡 邊 美保子

ミソハギは日本に自生する宿根草です。日当たりの良い水辺などの湿地を好みますが、水はけが良ければ乾いた所でも育ちます。7月になると、ちらほらと小花が咲き始め赤紫色の紙をしわくちゃにしたような6枚の花弁を開きます。旧暦のお盆の7月15日頃に見頃になり9月初旬頃まで長く咲いてくれます。草丈は80cm～100cm位で、咲きながら花茎を伸ばしてゆきます。富山では「ショウライバナ」と呼ばれていて、お盆にお墓にお供えする花とのこと。畑や田んぼの畦に植えられている印象があるため、好んで植える花ではないようです。ミソハギは長く花を楽しめて立ち姿が美しい花なのですが。

ミソハギの葉は、茎の真上から見ると十字架が重なっているように見えます。向かいあう葉が互い違いに規則正しく付いているからです。6月下旬になると、花茎の先にある黄緑色の小さな葉の上に桜でんぶをちょこんと置いたような姿になります。これが蕾の集団です。蕾は一日ごとに形がはっきりと分かるようになり、四角い茎を一周するように並び、これを何段も繰り返し一番下の段から咲き始めます。一つ目の花が開くと、翌日には二つ、三つと咲き進み、茎をぐるりと一周して花の冠のような姿になります(写真1)。この花の輪が何段も重なって、やがて茎の先の方まで紫色の小花で埋め尽くされます。



写真1 7月初旬。下の段から順番に開花する。

ミソハギの花には、雌しべの長さが違う3つの花のタイプがあります。雌しべが長いものは、花の真ん中から突き出ているのですぐ分かります。中ぐらゐの雌しべは、花から少しだけ顔を出します。短いものは花の中に隠れています。もっと面白いのは雄しべです。12本の雄しべのうち6本は長くて藍色の花粉、6本は短くて黄色の花粉をつけるのです(写真2)。12本全て黄色の花粉をつけるタイプもあります。1本の花茎に3つのタイプが咲くのではなく、同じ株では3つのうちのどれか1つのタイプの花が咲きます。3つの花のタイプがあるのは、同じ花のタイプ同士では受粉

しても種ができにくい仕組みがあるそうです。近親結婚を防いで子孫の遺伝子に多様性を持たせるためなのですね。

お手入れはほとんどありませんが、地下茎で横にどんどん広がってゆくので広々とした所を選んで植えましょう。組み合わせは、ミソハギの赤紫色の花を引き立ててくれる紫色のキキョウや、同系色のエキナセアなどがおすすめです(写真3)。8月のお盆の頃に開花を遅らせて見頃にするためには、6月の始めに茎の長さの半分まで切り戻すと良いでしょう。



写真2 長・短6本ずつの雄しべ。雌しべは中に隠れている。



写真3 ミソハギの花。左は、キキョウ。7月中旬。

注) 前号記事の黒アゲハの表記を、キアゲハに訂正いたします。

# 庭木に利用する樹種の特徴と管理

## ～ カシワバアジサイ ～

日本樹木医会富山県支部

樹木医 西村 正 史

最近、一般家庭の庭で少し変わったアジサイを見かけることが多くなりました。このアジサイはカシワバアジサイ（写真 1）で、他のアジサイと同じように梅雨の頃に咲きます。

### 1 特徴

カシワバアジサイは、アジサイ科（ユキノシタ科）アジサイ属の落葉低木で、原産地は北米東南部です。樹高は1～2m程度ですので、大きさの面から庭木に適しています。

葉は、5～7つに深く切れ込んでおり、カシワによく似ています。この特徴が名前の由来になっています。葉は秋になると赤く染まり、美しく紅葉するので、花とともに二度楽しむことができる優れものです。

6月上旬から7月上旬になると、枝先に長さ15～30cm程度の大きな円錐形の花序を出し、多数の花を咲かせます。花のように見える白い部分は、ガクが大きく発達した「装飾花」です。本来の花は非常に小さく、円錐形の花序の内側にあり、目立ちません（写真 2）。

富山県中央植物園内には、八重咲きで花序にボリウムのある「スノーフレーク」（写真では下方を向っていますが、重みのためです）と一重咲きの「スノークイーン」の2つの園芸品種が植栽されています（写真 3）。

### 2 維持管理

カシワバアジサイは半日陰から日向を好みます。光が足りないと花つきに影響します。夏場に土壌が極端に乾燥しない水はけのよい場所に植えま

しょう。一度植え付けてしまえば、特に日常の管理は難しくありません。管理面からも庭木に適した樹木です。

カシワバアジサイは剪定せずに育てると、枝分かれすることなく育つ傾向にあります。そこで、若木の頃、11月から12月頃に地際付近で剪定します。この剪定により、次の年にはたくさん枝分かれした丸くボリュームのある姿になります。この剪定を行った次の年は花芽を切り取っているため、花は咲きません。しかし、その後は毎年7月下旬までに通常の剪定をすれば、毎年、たくさんの花が咲きます。剪定する枝の部位は、花がついている枝の先端から3枚目の葉の上の茎部分が目安となります。

※ 写真は富山県中央植物園で撮影したものです。



写真2 カシワバアジサイの葉と花序（2020.6.18撮影）



写真1 カシワバアジサイ（2020.6.18撮影）



写真3 園芸品種「スノーフレーク」(左)  
園芸品種「スノークイーン」(右)（2020.7.14撮影）



# 「おもてなしフラワー事業」について

## 花と緑の銀行 緑花推進部

花と緑の銀行交付金事業の一つ、「おもてなしフラワー事業」を紹介します。この事業は、北陸新幹線の開業に伴い、県内観光地や駅周辺を花で飾り、訪れた方により良い印象を持っていただくとともに、地域の方々の緑化意識の向上を図ることを目的に平成24年度から開始し、今年で9年目となります。

この間、平成27年3月14日の北陸新幹線開業、平成27年10月に開催された「第35回全国豊かな海づくり大会」、平成29年5月に開催された「第68回全国植樹祭」など、全国から多くの方が富山県を訪れるイベントがありました。

当初は新幹線の開業を目処に平成28年度までの5ヵ年として始まった当事業ですが、東京2020オリンピックの開催決定、更に近年のインバウンド観光客の増加を見込み、令和6年度まで新規地域の採択期間を延長しました。各地域、最長5年間の補助を受けることが出来ます。

補助の対象は、以下の通りです。

### 1 組織体制づくり（1年目）・・・ソフト事業

- ① 観光地域の住民及び観光事業関係者等で、継続的に取組可能な組織を作る。
- ② 観光地の景観にマッチした、フラワーポットの配置や容器等の検討会を実施する。
- ③ 維持管理体制の整備を確立する。
- ④ 先進・優良取り組み地等の視察により、当該取り組みに反映・参考とする。

### 2 フラワーポット等設置・維持管理（2年目設置、3～5年目 維持管理）・・・ハード事業

- ① フラワーポット等の購入費
  - ② 花苗、土壌、肥料等の購入費
  - ③ 維持管理に必要な資材の購入費
  - ④ その他管理に必要な経費
- ・すでに維持管理体制が確立されている団体が管理する場合は、1年目からハード事業を行うことが出来ます。その場合も補助を受けるのは最長5年間です。
  - ・令和2年度までに、9支店15地域がこの事業を活用しており、うち9地域は継続中、また2地域が新規地域として取り組む予定です。
  - ・過去に当事業を活用し、一度終了した地域でも、再度計画を練り直して新規事業として行うことも可能です。

表1 令和元年度の実施箇所

| 市町村 | 地 区                        |
|-----|----------------------------|
| 富 山 | JR越中八尾駅周辺                  |
| 魚 津 | 魚津駅周辺、桃山運動公園内              |
| 氷 見 | 氷見駅周辺                      |
| 南 砺 | 菅沼合掌集落内、井波八日町通り<br>相倉合掌集落内 |
| 立 山 | 五百石駅周辺、立山あるぺん村周辺           |



菅沼合掌集落内



JR越中八尾駅周辺



相倉合掌集落内

写真1 事業実施様相



## おもてなし常花線

じょうはなせん

花と緑の銀行 南砺支店

南山田地方銀行 頭取 中野 哲雄

南砺市城端の南山田地方銀行は、現在、頭取と8名のグリーンキーパーを中心に活動しています。南砺市の「花いっぱいまちづくり事業」の一環で、JR城端駅前の花苗の植え替え・管理を南山田地方銀行が中心になって毎年行っています。ハンギングバスケット、プランターへの寄せ植えは、花苗選びから配置までを悩みながら、みんなでわいわい言いながら作り上げるのが毎回の楽しみです。

JR城端駅は通勤通学等での利用だけでなく、五箇山合掌集落へ向かう世界遺産バスに乗車される観光客の方が多く利用されます。城端駅に立ち寄られる観光客は年間約75,000人にもなり、海外からの旅行者も多く見られます。

駅を毎日利用される方々はもちろん、遠くから来訪された方々をいっぱいの花でもてなしたいという思いで、毎日の水やりや草むしりなどを行っています。花壇の維持管理は限られた人員では大変な作業ですが、グリーンキーパーみんなが役割を分担し、協力し合いながら維持管理を行っています。毎日の丁寧な手入れの甲斐があって、毎年、寒い冬を越し、春までしっかりきれいな花を咲かせているのが私たちの自慢です。

また、城端駅前にある城端交番から始まった「城端ひまわりプロジェクト」も、城端駅での花によるおもてなしの名物です。東日本大震災の復興支援で現地に赴いた城端交番所長の岩上恭士さんが、復興の象徴として持ち帰ったひまわりの種から、このプロジェクトはスタートしました。南山田地方銀行も、その復興への思いに共感し、メンバーとして加わっています。

夏になると城端交番の前や城端駅周辺は、太陽に向かって大きく花開くひまわりでいっぱいになります。城端交番は「ひまわり交番」との愛称で地元で親しまれ、交番横にある車庫のシャッターには、地元中学生がペンキで描いたひまわりが咲いています。

城端駅を訪れる方々を花でもてなし、潤いのある生活を過ごしてほしいと思い、「城端線」が常に花のある「常花線」でありたいと願っています。こうした意識を一人でも多くの人と共有し、継続的に活動していくことで、地域の活性化の一助になれば幸いです。



写真1 城端駅前のハンギングバスケット設置



写真2 大きく花開くひまわりたち

## お知らせコーナー (8月～12月の主なイベント)

富山県花と緑の祭典2020 “第48回花と緑の大会”を開催します。

- ・日時 令和2年10月14日(水) 13:30～16:00
- ・場所 富山県民会館ホール
- ・内容
  - (1) 花と緑の功労者表彰
  - (2) 富山県花と緑のコンクール入賞者表彰
  - (3) 花と緑の講演会

演題 「浜松市の花と緑のまちづくりの取組み(仮)」

講師 浜松市 花と緑の推進グループ 担当者

\* 新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら開催の予定です。  
なお、状況によって開催内容が変更となる場合があります。



第47回大会 2019.10.30



## 富山県中央植物園

- 夜間開園「夜の熱帯植物探検」 8月21日(金)・22日(土) 18:30~21:00
- 特別展「お米展～イネと田んぼと人の営み～」 9月11日(金)～10月21日(水)
- 第28回TOYAMA植物フォーラム「イネとお米と日本酒と」 10月4日(日) 13:30~16:00
- 第14回秋のラン展 11月21日(土)～23日(月・祝)
- クリスマスフェア 12月5日(土)～6日(日)  
～ クリスマス飾り作り(有料)、クリスマス関連植物販売 など
- 花と緑のコンクール入賞作品展 12月11日(金)～23日(水)  
(詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ。  
参加には入園料が必要です。)



クリスマスフェア 2019.12.6

## 県民公園 頼成の森

- キノコ狩りと観察会 10月11日(日) 10:00~12:30 定員:30名 参加費:無料
- リースづくり教室 11月15日(日) 9:30~12:00 定員:25名 参加費:1,000円
- 干支づくり教室 12月6日(日) 9:30~12:00 定員:10名 参加費:500円
- ミニ門松づくり教室 12月20日(日) 9:30~12:00 定員:20名 参加費:1,000円  
(詳細はHPをご覧ください。申込み・お問い合わせは県民公園 頼成の森へ)



富山空港前花壇～ 銀行の  
事業活動として設置  
2020.7月

### ※ お願い！！

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各行事の中止や内容の変更を行う場合があります。  
ご理解の上、各行事の詳細はその都度、担当部署へお問合せ下さい。
- 頭取、グリーンキーパーの皆さまには、新型コロナウイルスの感染症予防対策に努め、花壇管理など花と緑の指導にあたっていただきますようお願いいたします。
- ① 3つの密(密閉空間、密集場所、密接場所)を避けましょう！
- ② マスクの着用など、咳エチケットに努めましょう！
- ③ こまめに手を洗いましょう！



編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行  
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42  
TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923  
<https://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園  
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42  
TEL 076-466-4187 FAX 076-465-5923  
<https://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森  
〒939-1431 砺波市頼成156  
TEL 0763-37-1540 FAX 0763-37-1450  
<https://www.bgtym.org/ranjyounomori/>



花と緑の銀行だより 216号

発行日 令和2年(2020年)8月  
再生紙を使用しています。